

令和5年度（2023年度）公共事業再評価調書

（様式3）

		基準年月日		令和5年8月1日	
調書番号	08-10	所管部	建設部	作成責任者	建設部土木局河川砂防課長 上前 孝之
				担当係	河川計画係（内） 29-323

I 基本事項（基準日時点）

事業種別	大規模特定河川事業費、広域河川改修事業費（社会資本整備総合交付金）				
ふりがな 地区名	うしゅべつがわ 牛朱別川	市町村名	旭川市・当麻町・東川町	総事業費	37,705 百万円
負担割合	国	道	市町村	その他	
	25,137 百万円	12,568 百万円		百万円	

事業目的・目標	●牛朱別川は、石狩川水系石狩川に合流する一級河川で、S22年(1947年)8月の洪水により、家屋浸水など多大な浸水被害が発生した。 ●このため、S24年(1949年)より牛朱別川本川の河川改修事業に着手。S46年(1971年)、S63年(1988年)に改修計画の見直しを行い、支川を含めた流域全体の治水対策に着手。 ●堤防の新設や河道の掘削による河積の拡大を行い、旭川市豊岡地区、当麻町5条東地区、東川町西1～11号北地区などの市街地及び農地の浸水被害を防止する。				
	【アウトカム】等				
	●改修の目標とする規模の降雨により浸水するおそれのある家屋数	3,709戸→0戸			
	●改修の目標とする規模の降雨により浸水するおそれのある農地面積	2,091ha→0ha			

事業概要	牛朱別川は、石狩川合流点の上流14km地点から5.3kmの区間、支川愛宕新川は牛朱別川合流点から5.1kmの区間、その他の7支川を含む合計41.4kmの区間について、堤防の新設や河道の掘削による河積の拡大を行うものである。	工事費内訳	計画流量 Q=550m <sup>3</sup> /s (支川愛宕新川Q=210m <sup>3</sup> /s)	(百万円)	(百万円)	(百万円)
			計画延長 L=41,400m	前回評価	今回評価	増減額
			築堤工 L=40,150m	4,121	4,201	80
			掘削工 L=41,400m	7,568	8,881	1,313
			護岸工 L=21,635m	6,726	7,545	819
			附帯工事 道路橋46橋、JR橋1橋等	5,974	7,960	1,986
			測量設計費 調査・設計	2,819	3,562	743
			用地補償費 用地買収・物件補償	5,556	5,556	0
			計	32,764	37,705	4,941

総合計画での位置付け	総合計画の体系	大項目	中項目	小項目	施策名
		生活・安心	強靱な北海道づくりとバックアップ機能の発揮	大規模自然災害に対する北海道自らの脆弱性の克服	大規模自然災害対策の推進（強靱化）

特定分野別計画等での位置づけ	施策目標・方針	【計画名：北海道強靱化計画 P28】 (河川改修等の治水対策) 河道の掘削、築堤、放水路、ダム、遊水地の整備などの治水対策について、近年の大雨災害等を勘案した重点的な整備を推進する。
	関連する指標	

II 公共事業評価経過

事業経過	事業採択	着手	評価年度	完了予定	経過年数	事業費	総事業費(a)	道負担額	当該年度事業費	累計事業費(b)	進捗率(b)/(a)
							25,270	8,423			
事前評価又は当初	S24 (1949)	S24 (1949)		H30 (2018)							
前回再評価	S24 (1949)	S24 (1949)	H30 (2018)	H50 (2038)			32,764	10,921		20,987	64%
今回評価			R5 (2023)	R20 (2038)	74		37,705	12,568	1,143	27,844	74%

変更理由・内容（概要）	(1)取水施設の構造が変更になったことによる増額 (2)土砂運搬箇所の変更に伴う残土運搬距離の増による増額 (3)水路調査による排水工・樋門工の基数増 (4)橋梁の基礎形式及び施工方法の変更による増額 (5)資材及び労務単価の上昇や消費税率の変更による増額
-------------	--

III 事業採択前の状況

1. 事業採択に至る経過と背景	● S22年(1947年)8月 浸水被害が発生（浸水面積11,774ha、浸水家屋3,847戸） ● S45年(1970年)8月 浸水被害が発生（浸水家屋1,069戸、農地1,330ha） ● S50年(1975年)8月 浸水被害が発生（浸水家屋62戸、農地25ha） ● S56年(1981年)8月 浸水被害が発生（浸水家屋16戸、農地361ha）
2. 事業検討の経緯（住民ニーズの把握等）	● S22年(1947年) 牛朱別川について旭川市、当麻町、東川町より道に河川改修の要望 ● S24年(1949年)4月 牛朱別川の改修事業に着手 ● S46年(1971年) 支川ペーバン川、倉沼川、神水川、近文内川、当麻川、ボン牛朱別川、清水川の改修事業に着手 ● S63年(1988年)4月 支川愛宕新川（放水路）の改修事業に着手
3. 事業効果を及ぼす地域・対象	● 旭川市豊岡地区、当麻町5条東地区、東川町西1～11号北地区などの市街地及び農地 氾濫防止面積2,291ha（うち農地2,091ha）、浸水防止家屋3,709戸

4. 関連する事業	事業名	事業主体	事業期間	事業費(百万円)	事業内容

**IV 事業の実施状況**

(1) 事業実績及び今後の計画												
施工(工種)区分	工事内容	S24	~	H30	R1	~	R5	R6	~	R20	進捗状況	事業費(百万円)
築堤工	L=40,150m	←		L=33,069m						L=7,081m	70%	4,201
掘削工	L=41,400m	←		L=26,647m						L=14,753m	68%	8,881
護岸工	L=21,635m	←		L=19,964m						L=1,671m	60%	7,545
附帯工事	道路橋46橋、JR橋1橋等	←		道路橋30橋、JR橋1橋等						道路橋16橋等	75%	7,960
測量設計費	調査・設計	←									84%	3,562
用地補償費	用地買収・物件補償	←									97%	5,556

(2) 進捗状況

愛宕新川は完成断面による整備が完了しており、ペーバン川、倉沼川は完成断面、牛朱別川、神水川、近文内川、当麻川、ボン牛朱別川、清水川は暫定断面により整備を促進している。事業費が増額したものの、今後の事業実施にあたっては、特に大きな支障となるものはない。

**a**

a:概ね予定どおり実施している。 b:事業計画・期間等を変更し実施する。  
c:問題が生じ、実施に支障をきたしている。

経済効果の内訳(百万円)		費用の内訳(百万円)		備考
項目	R5現在	項目	R5現在	●「治水経済調査マニュアル(案)」(国土交通省R2(2020))に基づき算出 ●効果及び費用は、R5(2023)に現在価値化し、「整備期間+事業完了後50年間」で算出 ●効果は、洪水氾濫における直接被害額(家屋、公共土木施設、農地等)及び間接被害額(営業停止被害等)により年平均被害軽減期待額を算出 ●費用は、現在価値化及び50年間の維持管理費の計上により総事業費と異なる
洪水被害防止効果	1,855,320	建設費	99,113	
		維持管理費	269	
合計(B)	1,855,320	合計(C)	99,382	
B/C	前回算定年度 : H30年度(2018年度)【再評価】 前回算定時B/C : 15.14(合計B:1,054,749 合計C:69,688) 変更理由 :			
R5現在				
18.67	・事業費の増額に伴う費用の増加 ・治水経済調査マニュアルの改定に伴う便益算定方法の見直しによる効果の増加 ・効果及び費用をR5(2023)に現在価値化したことなどによる。			

取組の項目	取組内容	縮減額(百万円)
施工の最適化	現地採取の表土を緑化基材へ利用	23
施工の最適化	工事で発生するコンクリート殻を護岸の中詰め材へ再利用	28
施工の最適化	工事で発生する玉石等を護岸として有効利用	10
計画・設計の最適化	橋梁架替の際、現橋を仮設として利用	100

**V 評価**

1. 必要性	
● 本事業は、旭川市豊岡地区、当麻町5条東地区、東川町西1~11号北地区などの市街地及び農地の洪水被害を防止するためのもの。 ● 事業着手後もH11年(1999年)7月(農地0.2ha、家屋1戸)、H18年(2006年)8月(農地1ha)、H28年(2016年)8月(農地8ha)、H30年(2018年)7月(農地36ha)などに浸水被害が発生。 ● 事業の必要性に変化はなく、着実に事業の推進を図る必要がある。	
<b>a</b>	a:事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する。 b:着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。 c:着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。

2. 事業を推進する上での課題	
(1) 環境上の配慮及び課題	
● 魚類などに配慮し、現況河床を極力保全している。 ● 河畔林を極力保全している。 ※ 直近の評価以降の状況変化はない。	
(2) 事業推進に対する住民の動向・意向	
● 旭川市、当麻町、東川町から事業の早期完成に向けての要望が出されている。 ※ 直近の評価以降の状況変化はない。	
(3) その他の課題	
● 特になし ※ 直近の評価以降の状況変化はない。	

3. 事業達成の見込み	
事業期間が長期に及ぶものの、現状では特に大きな支障となるものはなく、事業は順調に進捗していく見込みである。	
<b>a</b>	a:現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。 b:課題はあるものの達成は可能である。 c:大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。

4. 対処方針					
事業の必要性に変化はなく、地元からの早期完成要望も受けているため、令和20(2038)年度の完成を目指して事業継続する。					
<b>a</b>	a:継続 b:終了 c:休止 d:中止				
事業期間変更の有無	無	事業内容変更の有無	無	総事業費変更の有無	有

VI 備考

1. 評価履歴	【評価結果】 事前評価： 再評価：平成30年度実施 評価結果：継続（変更なし） B/C：15.14
	【特記事項】
2. その他の取組事項	

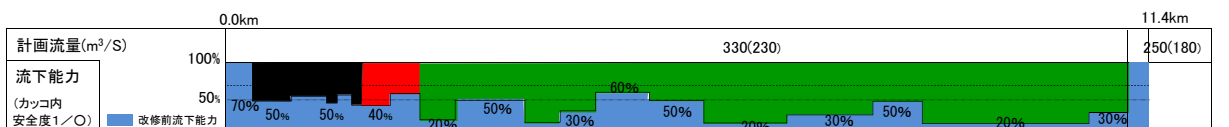
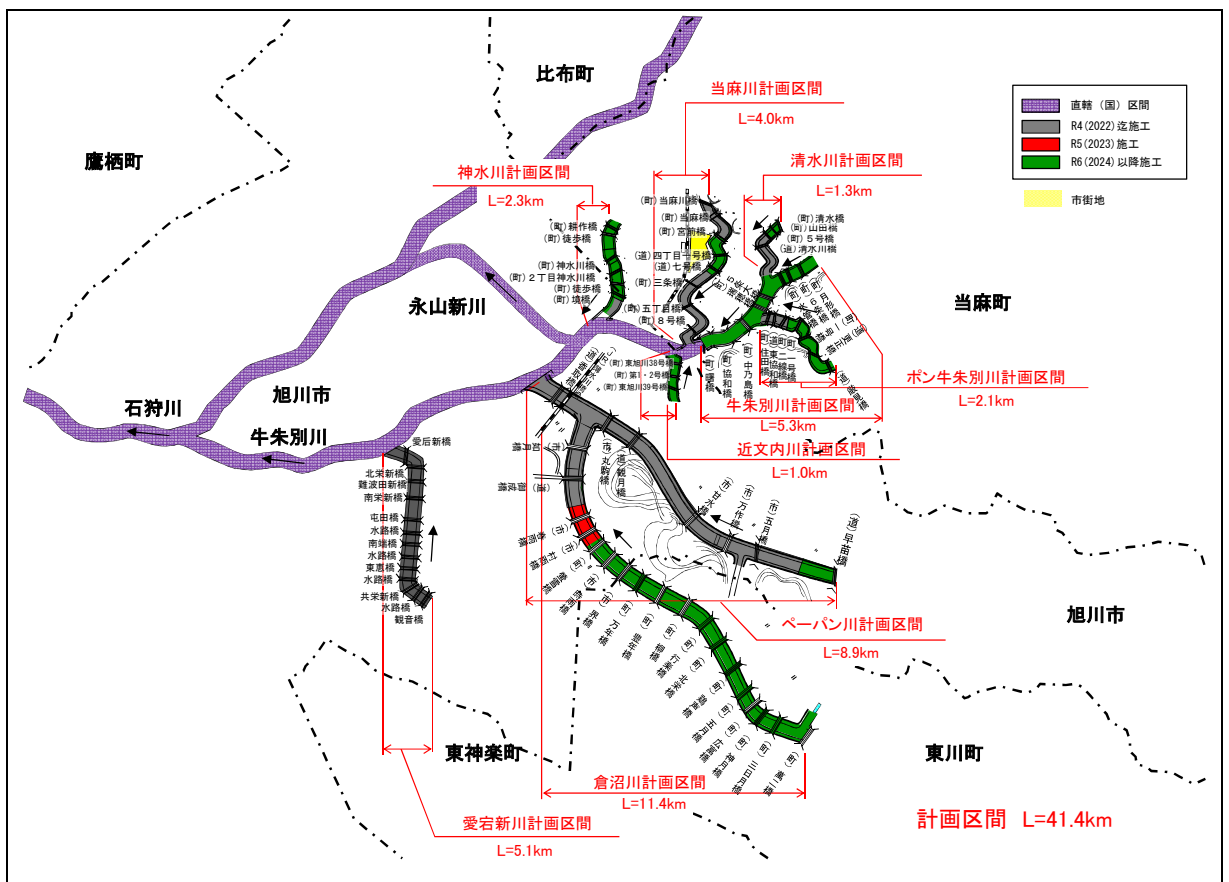
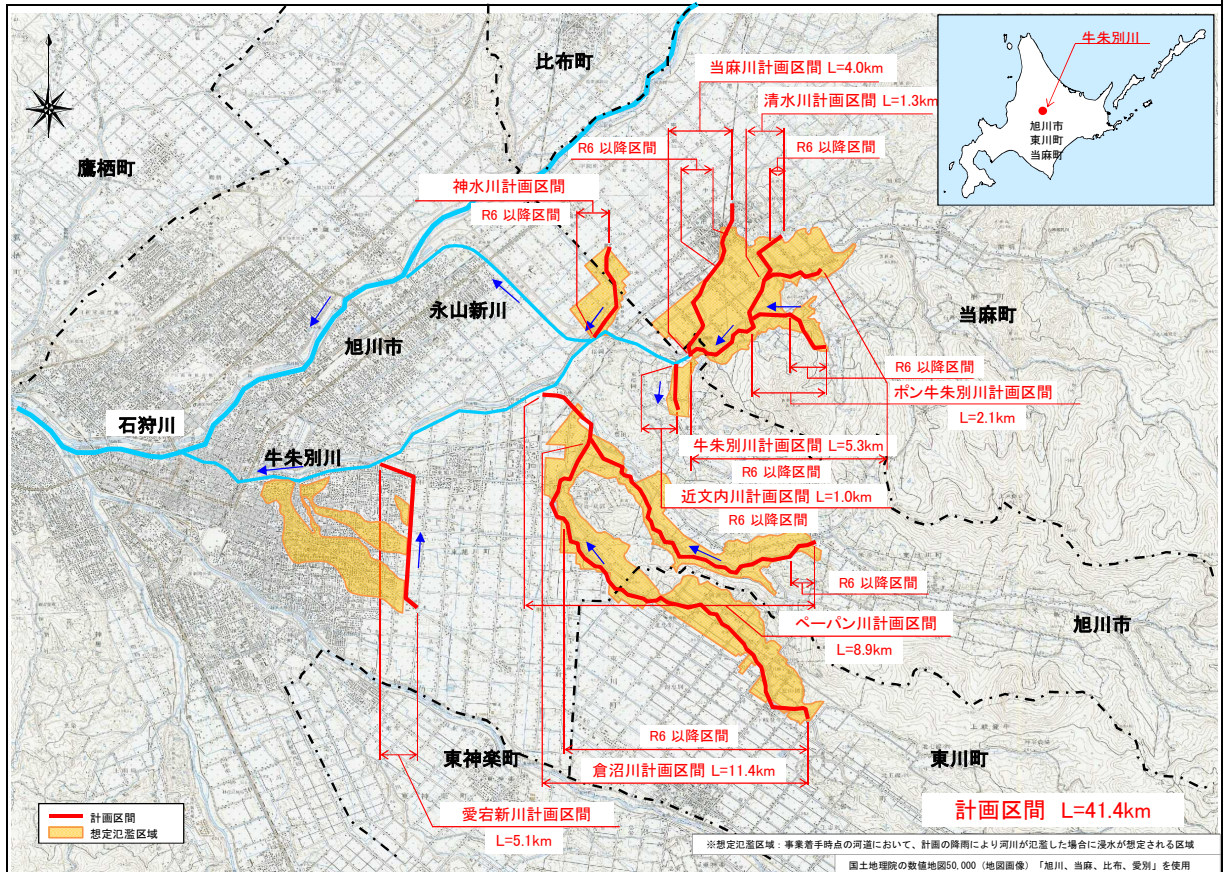
補足資料

VII 事業計画変更

(単位：百万円)

事業経過							経 過 年 数	事業費			
	再評価	事業採択	着手	評価年度	変更年度	完了予定		総事業費 (a)	当該年度事 業費	累計事業費 (b)	進捗率 (b)/(a)
事前評価 又は当初		S24 (1949)	S24 (1949)			H30 (2018)	74	25,270			
変更①	1回目			H15 (2003)	H15 (2003)	H30 (2018)		28,990			
変更②	2回目			H20 (2008)	H20 (2008)	H34 (2022)		28,990			
変更③	3回目			H25 (2013)	H25 (2013)	H39 (2027)		29,694			
変更④					H28 (2016)	H39 (2027)		30,674			
変更⑤	4回目			H30 (2018)	H30 (2018)	H50 (2038)		32,764			
変更⑥					R2 (2020)	R20 (2038)		33,744			
変更⑦	5回目			R5 (2023)	R5 (2023)	R20 (2038)		37,705	1,143	27,844	74%
変更⑧											
変更⑨											
変更⑩											
変更理由・内容		変更①：総事業費の変更 ・事業費精査による増額 変更②：事業期間の変更 ・地域住民との調整による事業期間の延伸 変更③：事業期間・総事業費の変更 ・河岸侵食防止のための護岸工の増などによる増額 ・残事業の施工期間を精査したことによる事業期間の延伸 変更④：総事業費の変更 ・ペーパン川、倉沼川及び当麻川において危機管理型ハード対策としての堤防天端舗装を追加したことによる増額 変更⑤：事業期間・総事業費の変更 ・資材、労務単価の上昇や消費税率変更による増額 ・残事業の施工期間を精査したことによる事業期間の延伸 変更⑥：総事業費の変更 ・取水施設の構造が変更になったことによる増額 変更⑦：総事業費の変更 ・土砂運搬箇所の変更に伴う残土運搬距離の増による増額 ・水路調査による排水工・樋門工の基数増による増額 ・取水施設の構造が変更になったことによる増額 ・橋梁の基礎形式及び施工方法の変更による増額 ・資材及び労務単価の上昇や消費税率の変更による増額									

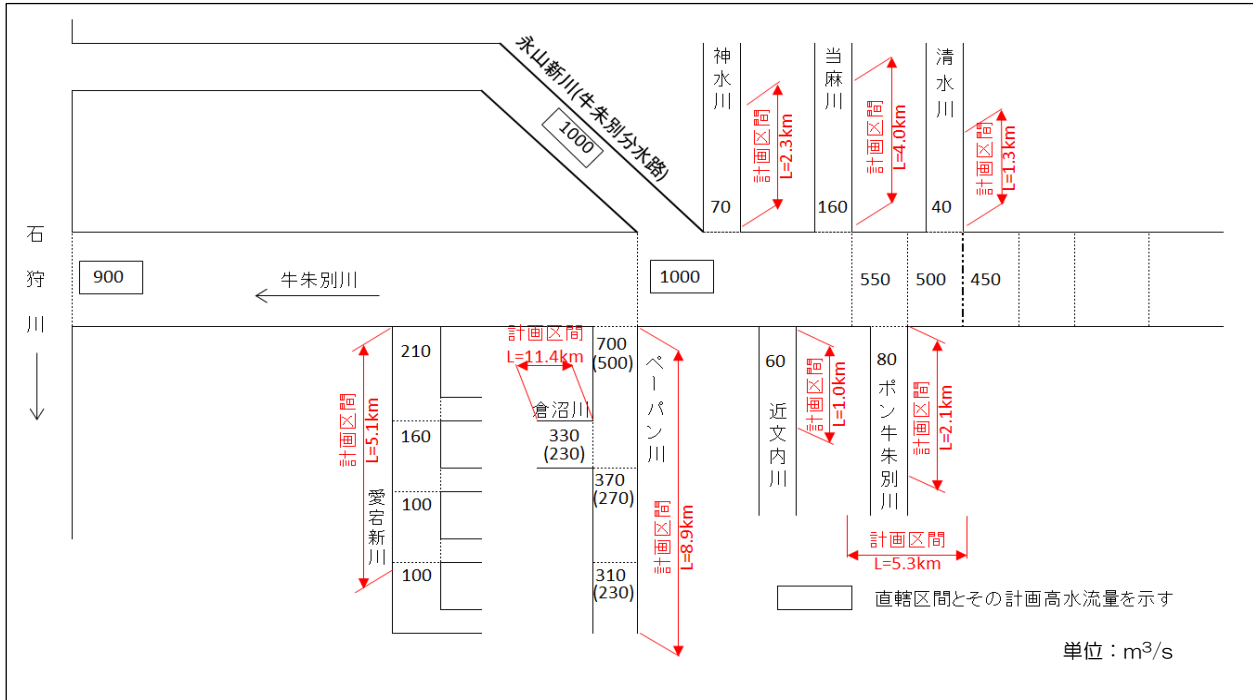
事業名	大規模特定河川事業費 広域河川改修事業費 (社会資本整備総合交付金)	地区名	牛朱別川	採択年度	S24 (1949)
-----	--	-----	------	------	---------------



(倉沼川地区)

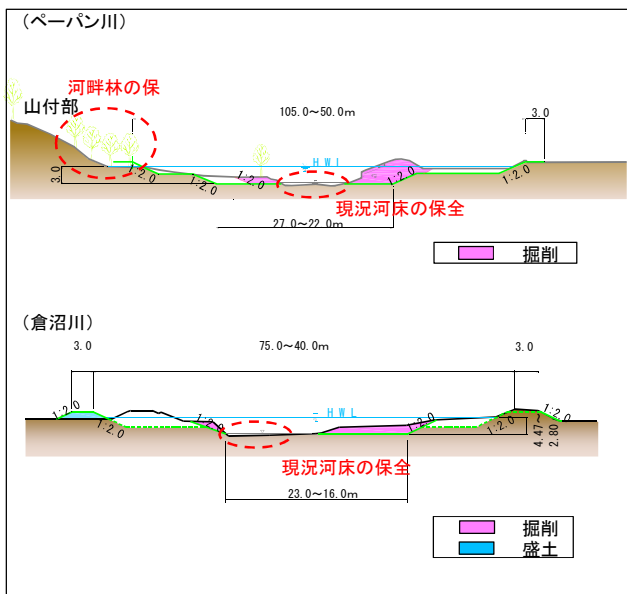
事業名	大規模特定河川事業費 広域河川改修事業費 (社会資本整備総合交付金)	地区名	牛朱別川	採択年度	S24 (1949)
-----	--	-----	------	------	---------------

### 流量配分図



計画諸元					
河川名	愛宕新川	ペーバン川	倉沼川	神水川	近文内川
流域面積(km <sup>2</sup> )	42.3	190.1	87.6	10.7	9.2
計画延長(km)	5.1	8.9	11.4	2.3	1.0
氾濫面積(ha)	138	557	797	114	62
計画雨量	260mm/3日	260mm/3日	260mm/3日	215mm/3日	215mm/3日
計画高水流量(m³/s)	210	700(500)	330(230)	70	60
計画勾配	1/380~1/180	1/240~1/135	1/175~1/136	1/400~1/250	1/280
河川名	牛朱別川	当麻川	ポン牛朱別川	清水川	計
流域面積(km <sup>2</sup> )	470.6	42.7	17.5	6.0	876.7
計画延長(km)	5.3	4.0	2.1	1.3	41.4
氾濫面積(ha)	623	牛朱別川で計上	牛朱別川で計上	牛朱別川で計上	2291
計画雨量	215mm/3日	215mm/3日	215mm/3日	215mm/3日	-
計画高水流量(m³/s)	550	160	80	40	-
計画勾配	1/540~1/400	1/270~1/200	1/264~1/65	1/245~1/195	-

### 標準断面図



### 河道状況

